# 昭島市

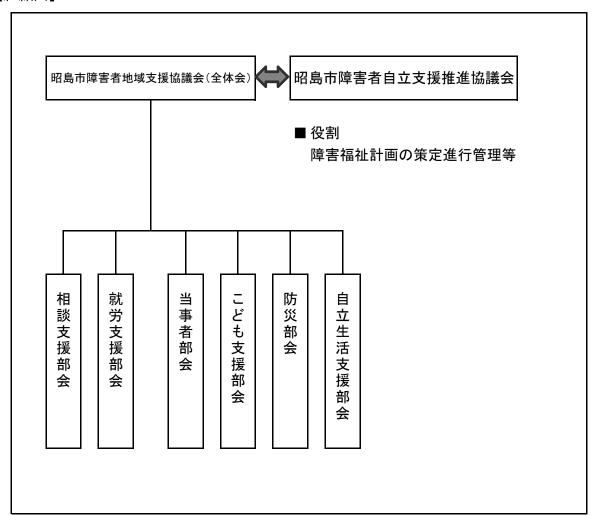
## 【名称】昭島市障害者地域支援協議会

# 【設置年月】 平成28年4月

※平成18年1月から平成28年3月までは、昭島市障害者自立支援推進協議会が地域自立支援協議会の機能を担っていた。

### 【運営方法】直営

# 【組織図】



### 【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援 センター	委託相談 支援事業所数	指定一般 	と相談 芝所数 地域定着	指定特定相談 支援事業所数	指定障害児 相談支援 事業所数
未設置	3	2	2	9	9

### 【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
検討中	_	_

## 【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

## 日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
なし	_

### 【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

専門部会の活動回数及び委員数

<u> </u>			
全体会			
回数	委員数		
5	15 (2)		

411 Fr A - 10 34 D 36 C 0 3 5 C 36			
部会名	回数	委員	数
相談支援部会	7	17	(3)
就労支援部会	10	23	(0)
当事者部会	15	11	(6)
こども支援部会	10	10	(0)
防災部会	6	8	(4)
自立生活支援部会	6	16	(0)

※「委員数」の():当事者の立場で委員に就任されている方の人数(再掲)

### 【全体会の委員構成及び活動内容】

## (1)委員構成

,					
種 別	人数	種 別	人数	種 別	人数
学識経験者	0	医療関係者	1	保健所	0
教育関係機関	1	雇用関係機関	0	企業	1
障害当事者·家族·関係団体	4	身体·知的障害者相談員	0	相談支援事業者	1
障害福祉サービス等事業者	6	社会福祉協議会	0	法曹関係者	0
民生·児童委員	1	地域住民	0	行政職員(区市町村)	0
行政職員(都)	0	その他	0		
A ⇒1		15			

合 計 15

### 委員名簿

No.	役 職	氏 名	所 属	種 別	備	考
1	委員長	三原 恭明		障害当事者·家族·関係団体		
2	副委員長	祝 和子		障害福祉サービス等事業者		
3	委員	島田 洋一		障害福祉サービス等事業者		
4	委員	橋本 久貴		民生•児童委員		
5	委員	大西 保正		医療関係者		
6	委員	大沼 健司		教育関係機関		
7	委員	長谷川 京子		企業		
8	委員	大野 渉		障害当事者·家族·関係団体		
9	委員	出口 泰子		障害当事者·家族·関係団体		
10	委員	五十嵐 美智子		障害福祉サービス等事業者		
11	委員	黒澤 英明		障害福祉サービス等事業者		
12	委員	吉澤 孝行		相談支援事業者		
13	委員	渡辺 おりえ		障害福祉サービス等事業者		
14	委員	加藤 治男		障害福祉サービス等事業者		
15	委員	深井 葉子		障害当事者·家族·関係団体		

### (2)活動内容

関係機関等が相互に連携を図ることにより、地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、地域の実情に応じた体制の整備等について協議を行い、支援体制の整備を図る。

# 【専門部会の委員構成及び活動内容】

# (1)委員構成

部会種別	相談支援部会	就労支援部会	当事者部会	こども支援部会	防災部会
学識経験者	0	1	0	0	0
医療関係者	1	2	0	0	0
保健所	0	0	0	0	0
教育関係機関	0	2	0	2	0
雇用関係機関	0	2	0	0	0
企業	0	2	0	0	0
障害当事者·家族·関係団体	0	1	11	2	5
身体·知的障害者相談員	1	0	0	0	0
相談支援事業者	11	1	0	0	0
障害福祉サービス等事業者	0	10	0	4	1
社会福祉協議会	1	0	0	1	0
法曹関係者	0	0	0	0	0
民生·児童委員	0	0	0	0	0
地域住民	0	0	0	0	0
行政職員(区市町村)	2	1	0	1	2
行政職員(都)	0	0	0	0	0
その他	1	1	0	0	0
計	17	23	11	10	8

ha	
部会種別	自立生活支援 部会
学識経験者	0
医療関係者	1
保健所	0
教育関係機関	2
雇用関係機関	0
企業	0
障害当事者·家族·関係団体	0
身体·知的障害者相談員	0
相談支援事業者	3
障害福祉サービス等事業者	9
社会福祉協議会	1
法曹関係者	0
民生•児童委員	0
地域住民	0
行政職員(区市町村)	0
行政職員(都)	0
その他	0
計	16

## (2)活動内容

部会名称	活動内容
相談支援部会	<ul><li>・事例検討会で挙がった地域課題を抽出し、課題の解決に向け、具体策を他専門部会と連携しプロジェクトで取り組む。</li><li>・その他相談支援について必要な検討事項等、市と意見交換を行っている。</li></ul>
就労支援部会	障害のあるすべての人の就労ニーズに寄り添い、その人らしい就労生活の 実現のためにライフステージに沿ったトータル的な就労支援の充実を図ることを目的とする。 ①部会メンバーが関わった就労に関する好事例、失敗事例を持ちより、事 例検討をおこない、今後の支援につなげる。 ②市役所実習の拡大。 ③部会メンバーの情報共有の仕組みをつくり、より多くの市内事業所および 企業、地域が関われるようにする。
当事者部会	・障害者当事者同士の理解促進と差別解消に向けた取り組み・障害者が地域で安心して生活していくための取り組み など・定例会 12回 ・講演会及び学習会 1回・障害者交流会 1回・市長との懇談 1回
こども支援部会	1、施設見学(市内放デイ事業所) 2、保護者のニーズを聞く会の開催 3、人材確保プロジェクト「バームクーへン」参加 4、課題解決プロジェクト 参加 5、学習会「障害児の性を考える」の開催(講師―東京都心身障害者 福祉センター 山本良典氏)40名参加 6、(仮)昭島市児童発達支援セン ター・(仮)昭島市教育福祉総合センターについての情報交換 7、全体会
防災部会	① 昭島市総合防災訓練について ② 学校避難所運営委員会の動向 ③ 防災備蓄品の拡充と管理の精査と在宅要支援者への提供について ④ 要援護者名簿作成と活用について ⑤ 福祉避難所(あいぽっく・高齢者福祉センター・市立会館・老人ホーム等)の運用について ⑥ 防災部会委員拡大について
自立生活支援部会	・昨年度の生活支援部会と日中活動部会の課題事項を引き継ぎ、部会内でプロジェクトチームの編成を行い、課題解決に向けた取り組みを行った。 ・市民向けに、他部会と合同で、ヘルパー等の人材確保を目的としたイベントを3月2日に行った。 ・東京都重症心身障害児(者)通所事業を行っている社会福祉法人滝乃川学園の見学を行い、医療ケアが可能な地域施設活用型の現状を確認した。 ・昨年度までの地域生活支援拠点プロジェクトで出された地域課題について、再度検討を行った。 ※準備会3回・定例会4回・各プロジェクト会議・施設見学・イベント開催

## 【地域協議会の活動状況】

- 1 協議会の協議事項
  - ⑦ 社会資源の開発及び改善に関すること

市内に不足している社会資源について、共通認識を持ち、あわせて障害者福祉施設の整備状況について情報共有を行っている。

⑧ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること

障害者差別解消支援地域協議会の設置に向けて課題を整理し、設置準備を行った。

#### ⑨ 地域生活支援拠点等の整備に関すること

地域生活支援拠点等の整備にあたって課題となっている社会資源の不足をどのようにして充実させ、面的整備を図っていくかを協議している。

#### ⑩ 障害福祉計画等に関すること

障害者福祉計画の進捗状況について報告し、次期障害者福祉計画の準備を行っている。

#### ⑪ 協議会の運営に関すること

協議会の開催回数や開催時間など、議題協議の進捗状況等に応じて、意見を募りながら臨機応変に対応している。

#### 2 協議会としての役割

① 情報の顕在化

現在市が抱えているさまざまな問題を顕在化し、共通認識を持つよう協議している。

#### ② 情報共有•情報発信

事務局をはじめ、委員それぞれが持っている情報を協議会で発信し、共有したうえで関係機関に周知を 図っている。

#### ④ 各分野の社会資源の共有化及び整合性の確認

市内の社会資源の現状を整理し、不足している社会資源の解決を協議する。

#### ⑤ 地域課題の整理

地域で抱えている課題を整理し、共通認識を図っている。

### ⑥ 課題解決に向けての検討

さまざまな課題について、緊急度に応じてどのように取り組んでいくか協議している。

#### ⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

障害者福祉計画の進捗状況について報告し、次期障害者福祉計画の準備を行っている。

#### ⑨ 構成員の資質向上・研修の場

構成員あるいは構成員を取り巻く組織の中でそれぞれが疑問に思っていることを自由に討議し、疑問点・不明点の解消に努める。

#### ⑩ 権利擁護・虐待防止

権利擁護や虐待に関する事案が発生した際には、迅速に対応できるような運営を行っている。

3-1 協議会における地域課題

あがっている

- 3-2 地域課題の把握方法
  - ① アンケート、ヒアリング等
  - ② 全体会、専門部会、各種連絡会等
- 3-3 地域課題に対して取り組んだ、又は取り組んでいる内容
  - ⑤ 福祉人材(マンパワー)の確保

福祉の人材不足を解消するため、プロジェクトを組んでイベントを行った。

⑥ 緊急 · 災害対応

緊急時や災害時に、どのように支援をすることが可能か協議を行っている。

⑩ 就労支援

障害のある学生に向けて市役所内で職場体験実習を行い、就労支援を図っている。また就労を継続するうえでの課題等についても情報共有を図っている。

4 平成30年度地域自立支援協議会交流会のグループ討議

## 【発表内容】

①私たちは○○区市町村に戻ったら、	②なぜなら、(①に決めた理由)
まず○○をします。	だからです。
今年度から立ち上げる2つのプロジェクトチームの進め方を検討する。	2つのプロジェクトチームが協議会全体会や専門部会それぞれとうまく繋がりながら機能するようにするため。

### 【その後の実施状況】

4-1その後の実施状況 実施中

4-2具体的な取組状況

福祉人材確保プロジェクトについては、平成31年3月に実施し、一定の成果を得た。また、地域課題を解決するプロジェクトは会議を開きながら課題を整理・精査している段階。